# 絵本フォーラム

2019年3月10日　第123号
発行所　NPO法人「絵本で子育て」センター
〒659-0067　芦屋市茶屋之町2-21-405
TEL 0797-38-7518 FAX 0797-38-7939
http://www.ehonde.com/　E-mail info@ehonde.com
郵便振替口座 00990-8-161667
©NPO法人「絵本で子育て」センター 2019

## “たましい”をゆさぶる子どもの本の世界 112

灰谷 薫（絵本評論・エッセイスト）

### 普遍性のあるたいせつなことを やさしく語りかける。 読みつがれる70年の年月

### 「たいせつなこと」（フレーベル館）

あなたにとって、たいせつなことは何ですか。

自分の自分たるそのものの性。つまり、個人個人の持つアイデンティティをたいせつにすることは万人に通じる普遍性を持つということだろう。ぼくも正しくそう思う。日常の視界に生起する事象を捉えて、やさしい語り口の詩文の名調子は最終章にいたり、ずんと胸を打つ。

未曾有のグローバル情報社会で世界中が大国までもで慌ただしい混乱中にあり、うつろで悲しい言葉がただただ氾濫する現況において、多方面で劣化現象があらわになってきたように感じる昨今。

多勢を武器に物言う人にふるまう内圏から、現出するわが子やわが親を殺める事件のようにそれぞれ固有のたいせつなことがあることを発見してことばを紡ぎ、絵本「たいせつなこと」を生み出した。ほぼ70年も前の作品だが今またに輝きを放つ作品だと思う。イラストは“なついなかのおと”などの往年の創作コンビであるレナード・ワイスガードが担当。テキストに優れる豊かな味わいは格別な魅力だろう。

スプーンにとってたいせつなことは、それをつかうことにたべられることと語り、しろいひげくなってくれました。雨は、みずみずしくうるおすことであり、雪にとっては、あなたにとって、たいせつなことは／いつも　そこにある／ということ

どうだろう。連綿と時間や時代を超えてぼくらの天井に射影するそら。そらにとってたいせつなことは、いつもそこにありつづけるということ言う。なるほど、どうならせるではないか。

で、最後に、ぼくら人間にとっては、「あなたは　あなた」

あかちゃんだった　あなたは／からだと　こころを／ふくらませ　もいきな／ちにんまえに　なりました／……でも　あなたは／あなたが／あなたで／あること

何時の場合も、自分を見失うな、ということだろうそらは　いつも　そこにある／まぢれもなく　あおくて／たかくて　くうきにみちている／……／でも　放つ作品だと思う。イラストは“なついなかのおと”などの往年の創作コンビであるレナード・ワイスガードが担当。テキストに優れる豊かな味わいは格別な魅力だろう。

そらにとってたいせつなことは、それをつかうことにたべられることと語り、しろいひげくなってくれました。雨は、みずみずしくうるおすことであり、雪にとっては、あなたにとって、たいせつなことは／いつも　そこにある／ということ

どうだろう。連綿と時間や時代を超えてぼくらの天井に射影するそら。そらにとってたいせつなことは、いつもそこにありつづけるということと言う。なるほど、どうならせるではないか。

で、最後に、ぼくら人間にとっては、「あなたは　あなた」

あかちゃんだった　あなたは／からだと　こころを／ふくらませ　もいきな／ちにんまえに　なりました／……でも　あなたは／あなたが／あなたで／あること

何時の場合も、自分を見失うな、ということだろう

複数の人びとや自然社会のたいせつなことすべてと狡して重ならない。複数から多数へと広がるにつれて共通するたいせつなことは漸次格別な魅力を放つ作品だと思う。イラストは“なついなかのおと”などの往年の創作コンビであるレナード・ワイスガードが担当。テキストに優れる豊かな味わいは格別な魅力だろう。

そらにとってたいせつなことは、それをつかうことにたべられることと語り、しろいひげくなってくれました。雨は、みずみずしくうるおすことであり、雪にとっては、あなたにとって、たいせつなことは／いつも　そこにある／ということ

どうだろう。連綿と時間や時代を超えてぼくらの天井に射影するそら。そらにとってたいせつなことは、いつもそこにありつづけるということと言う。なるほど、どうならせるではないか。

で、最後に、ぼくら人間にとっては、「あなたは　あなた」

あかちゃんだった　あなたは／からだと　こころを／ふくらませ　もいきな／ちにんまえに　なりました／……でも　あなたは／あなたが／あなたで／あること

何時の場合も、自分を見失うな、ということだろう



## 可能性を諦めない 全ての人へ…

岡部 雅子（絵本講師）

日差しが柔らかく春めいてくる今日このごろ。

まの入園入学を控え、期待と不安で胸いっぱいの日々をお過ごしの方も多いのではないでしょうか。子ども主体の而校・大学進学。あるいは就職であっても、親としては子どもが新しい環境で元気にがんばれるようにと祈ら

思いを伝える事が出来なかった時、『かみさまからのおくりもの』こぐま社）が娘と私の距離をそっと縮めてくれました。弟が産まれ、精神を起こすようになったり、絵本を読んだり、時には弟を寝かしつけるお守りを一緒に歌ったり、今でも大切な思い出です。

## 娘とわたし・わたしと母

篠村 幸恵（東京都）

あんまり美味しくないね」と苦虫顔。大人になると美味しく感じる苦の味です。絵本で先行体験し、実際に食べて実体験を。私と娘には、このようなエピソードが沢山あります。同じように、私と母の間にも沢山のエピソードがあります。母は私を寝かせつけながら読んでくれ、存分に楽しんだ私は大満足で眠りにつくのでした。ある晩、「お母さん、あれ、いっくんは？」と娘。いっくんは、